

4 社会参加

4 - 1 現在力点を置いている活動、今後力点を置きたい活動（問 16）

現在は趣味、スポーツ、習い事が多いが、後はボランティア活動への参加意向も高い

現在力点を置いている活動、今後力点を置きたい活動についてたずねた。

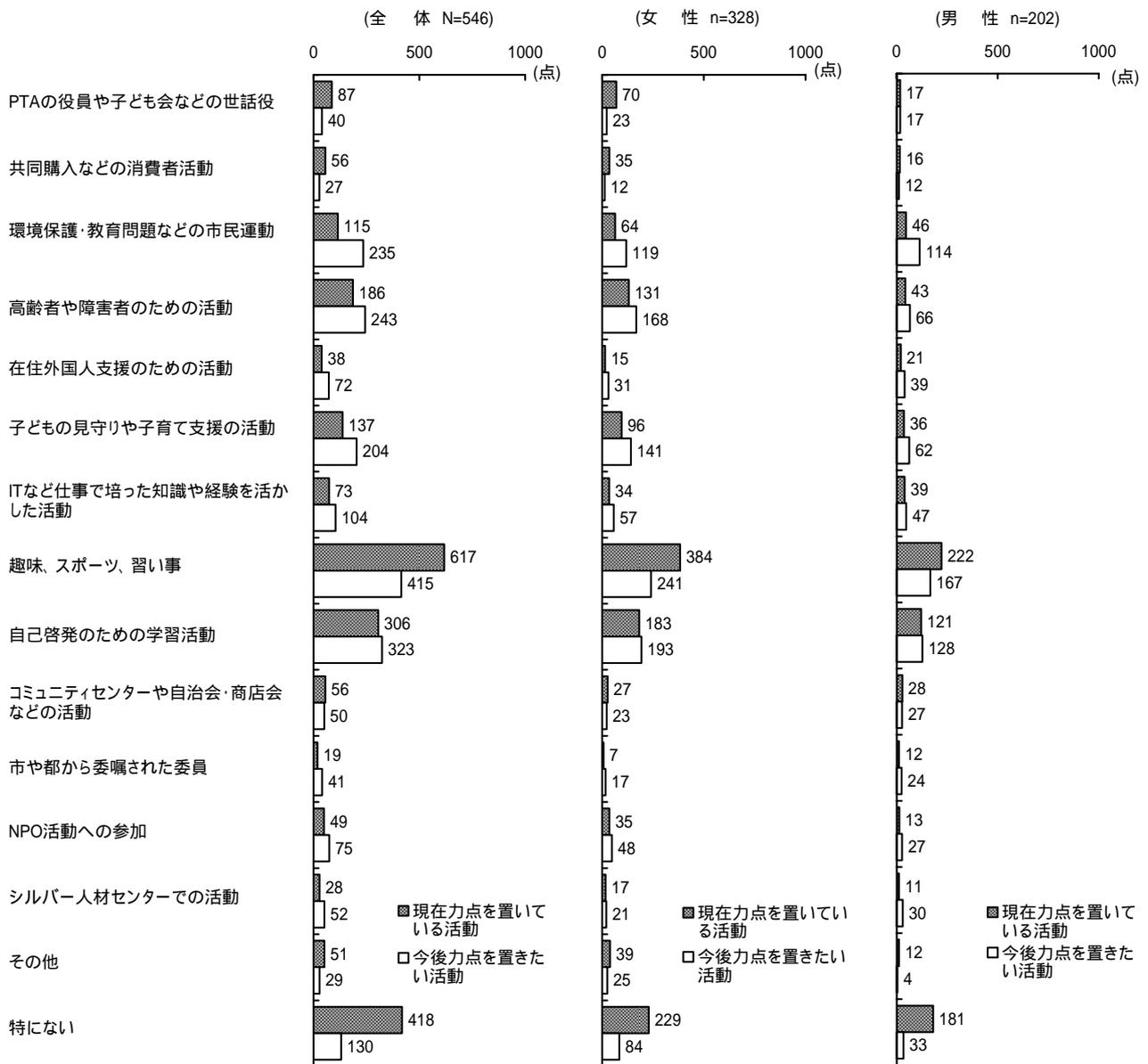
調査では、現在力点を置いている活動と、今後力点を置きたい活動のそれぞれについて、1位から3位までを記入していただいたが、集計の際、1位 = 3点、2位 = 2点、3位 = 1点として重み付けを行い、点数化した。

全体では、現在力点を置きたい活動、今後力点を置きたい活動ともに、「趣味、スポーツ、習い事（現在：617点、今後：415点）」が最も多い。現在と今後を比較すると、後は「趣味、スポーツ、習い事」は低くなり、「環境保護・教育問題などの市民運動」、「子どもの見守りや子育て支援の活動」、「高齢者や障害者のための活動」などが高くなっている。

性別にみると、全体結果と同様、現在力点を置いている項目の1位は男女ともに「趣味、スポーツ、習い事」だが、後は低くなっている。現在と今後を比較すると、男女ともに「環境保護・教育問題などの市民運動」、「子どもの見守りや子育て支援の活動」などが高くなっている。（図表

4 - 1）

図表 - 4 - 1 現在力点を置いている活動・今後力点を置きたい活動
(全体、性別：複数回答(3位まで))



調査票では、現在力点を置いている活動と今後力点を置きたい活動のそれぞれについて1位から3位までを記入していただいた。集計の際、1位 = 3点、2位 = 2点、3位 = 1点として重み付け、点数化した。

4 - 2 市の委員会や市議会等における女性の割合（問 17）

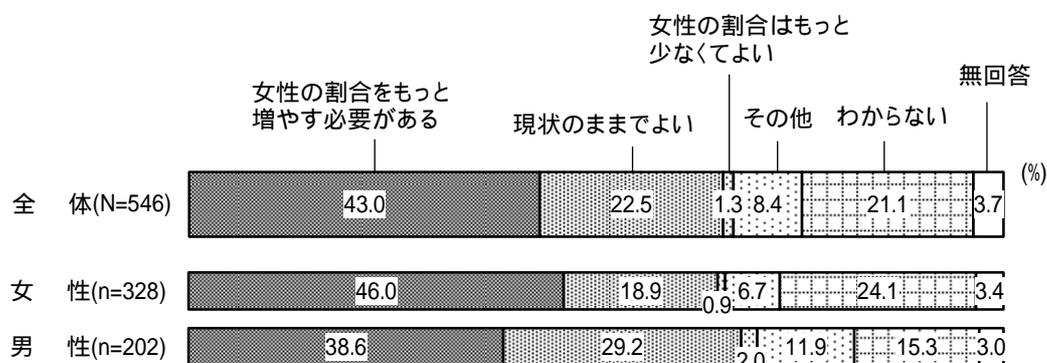
男女ともに「女性の割合をもっと増やす必要がある」が最も多い

市の委員会や市議会等における女性の割合についてたずねた。

全体では、「女性の割合をもっと増やす必要がある（43.0%）」が最も多く、次いで「現状のままでよい（22.5%）」などとなっている。

性別にみると、男女ともに「女性の割合をもっと増やす必要がある（女性：46.0%、男性：38.6%）」の割合が高いものの、男性は「現状のままでよい（29.2%）」の割合が高い。（図表 - 4 - 2）

図表 - 4 - 2 市の委員会や市議会等における女性の割合（全体、性別）



4 - 3 新しい仕事づくりに対する意向（問 18）

新しい仕事づくりに意欲的な人は3割を超えている

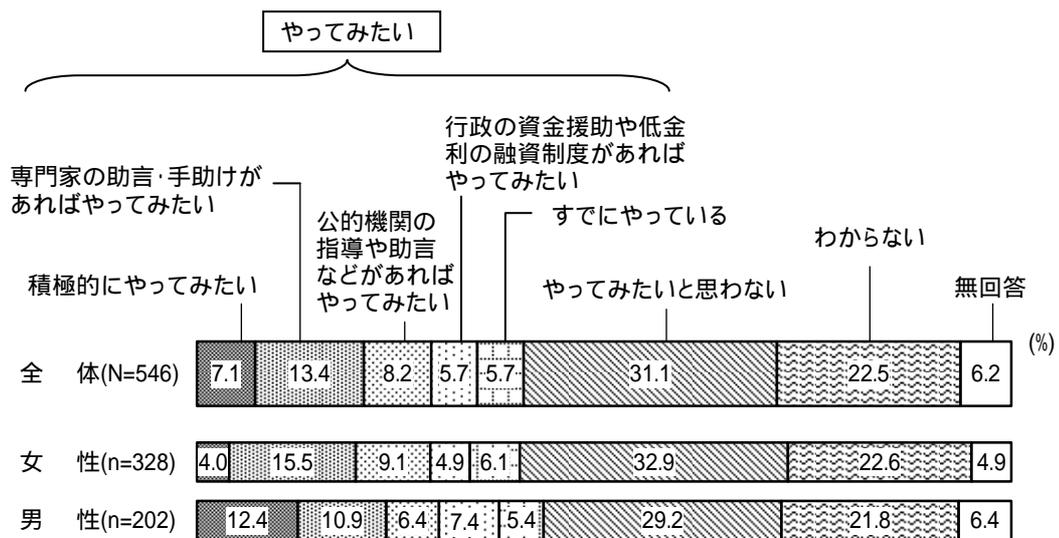
新しい仕事づくりに対する意向をたずねた。

全体では、「積極的にやってみたい（7.1%）」と「専門家の助言・手助けがあればやってみたい（13.4%）」、「公的機関の指導や助言などあればやってみたい（8.2%）」、「行政の資金援助や低金利の融資制度があればやってみたい（5.7%）」をあわせると、《やってみたい》と回答した人は34.4%となっている。

《やってみたい》層と「すでにやっている（5.7%）」層をあわせると、4割が新しい仕事づくりに意欲的であり、「やってみたいとは思わない（31.1%）」を上回る。

男女で回答に大きな違いはないものの、男性では「積極的にやってみたい（12.4%）」がやや多くなっている。（図表 - 4 - 3 - ）

図表 - 4 - 3 - 新しい仕事づくりに対する意向（全体、性別）



性・年代別にみると、男性は50代で「積極的にやってみたい」が全体を20ポイント以上上回っている。また、女性の20代、男性の30代も「専門家の助言・手助けがあればやってみたい」が全体を10ポイント以上上回っている。

また、女性の40代、70歳以上、男性の70歳以上では「すでにやっている」が全体を5ポイント程度上回っている。

図表 - 4 - 3 - 新しい仕事づくりに対する意向（全体、性・年代別）

			積極的にやってみたい	専門家の助言・手助けがあればやってみたい	公的機関の指導や助言などがある	行政の資金援助や低金利の融資	すでにやっている	やってみたいと思わない	わからない	無回答
全 体 (N=546)			7.1	13.4	8.2	5.7	5.7	31.1	22.5	6.2
性・年代別	女性	20代 (n= 36)	2.8	25.0	11.1	5.6	0.0	33.3	22.2	0.0
		30代 (n= 67)	7.5	19.4	9.0	6.0	3.0	29.9	23.9	1.5
		40代 (n= 57)	3.5	15.8	14.0	8.8	10.5	33.3	14.0	0.0
		50代 (n= 49)	4.1	16.3	10.2	8.2	4.1	30.6	22.4	4.1
		60代 (n= 64)	3.1	12.5	9.4	1.6	6.3	31.3	32.8	3.1
		70歳以上 (n= 55)	1.8	7.3	1.8	0.0	10.9	40.0	18.2	20.0
	男性	20代 (n= 14)	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	35.7	28.6	0.0
		30代 (n= 35)	2.9	28.6	2.9	11.4	2.9	20.0	22.9	8.6
		40代 (n= 36)	16.7	13.9	11.1	13.9	0.0	19.4	25.0	0.0
		50代 (n= 33)	27.3	6.1	9.1	9.1	6.1	21.2	21.2	0.0
		60代 (n= 44)	9.1	4.5	11.4	4.5	9.1	38.6	18.2	4.5
		70歳以上 (n= 40)	7.5	2.5	0.0	0.0	10.0	40.0	20.0	20.0

4 - 4 新しい仕事づくりをやってみたい理由（問 18 - 1）

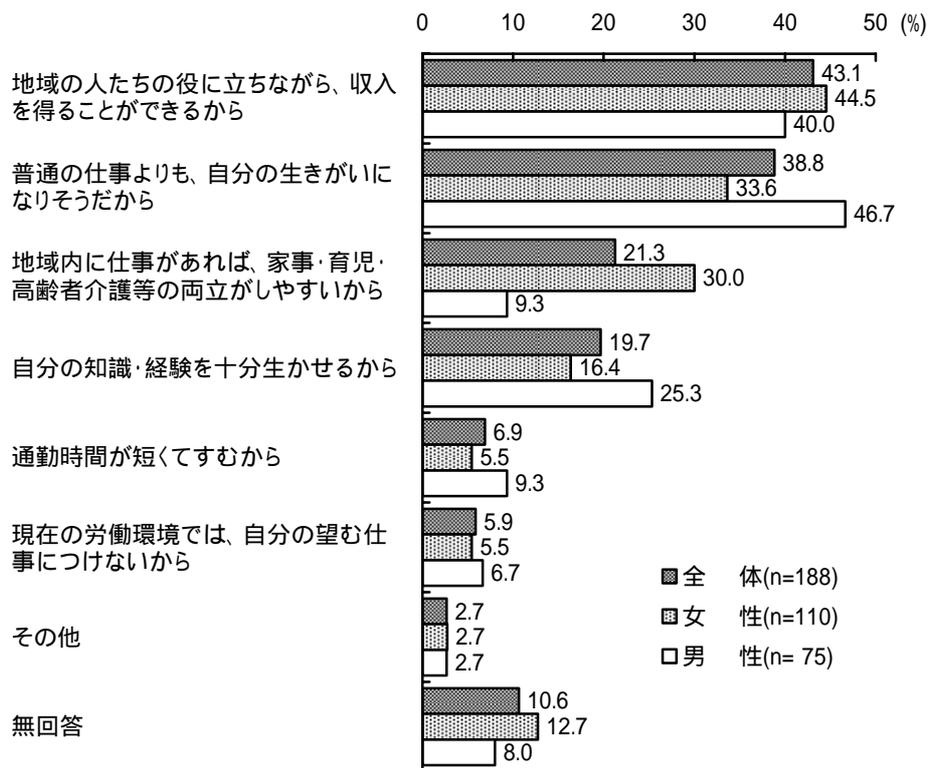
新しい仕事づくりをやってみたい理由は、女性は「地域の人たちの役に立ちながら収入を得ることができるから」、男性は「生きがいになりそうだから」

問 18 で新しい仕事づくりを《やってみたい》と回答した人にその理由をたずねた。

全体では、「地域の人たちの役に立ちながら、収入を得ることができるから（43.1%）」が最も多く、「普通の仕事よりも、自分の生きがいになりそうだから（38.8%）」、「地域内に仕事があれば、家事・育児・高齢者介護等の両立がしやすいから（21.3%）」が続いている。

性別にみると、女性の理由の1位は「地域の人たちの役に立ちながら、収入を得ることができるから（44.5%）」である。また、「地域内に仕事があれば、家事・育児・高齢者介護等の両立がしやすいから（30.0%）」の割合も高い。男性の理由の1位は「普通の仕事よりも、自分の生きがいになりそうだから（46.7%）」である。また「自分の知識・経験を十分生かせるから（25.3%）」の割合も高い。（図表 - 4 - 4 - ）

図表 - 4 - 4 - 新しい仕事づくりをやってみたい理由（全体、性別：複数回答（2つまで））



性・年代別にみると、女性は30代で「地域内に仕事があれば家事・育児・高齢者介護等の両立がしやすいから」が全体を20ポイント以上上回っている。

男性は、20代、30代で「普通の仕事よりも自分の生きがいになりそうだから」、60代で「地域の人たちの役にたちながら収入を得られるから」が全体を20ポイント以上上回っている。

また、男女とも30代は「現在の労働環境では、自分の望む仕事につけないから」が全体を10ポイント程度上回っている。(図表 - 4 - 5 -)

図表 - 4 - 4 - 新しい仕事づくりをやってみたい理由(全体、性・年代別：複数回答(2つまで))

		らら地 域の 収入 を得 ること が立 ちな るか	が普 通の 仕事 より も、 自分 の生 き	や育地 す児域 い・内 か高に ら齢仕 者事 介が 護あ 等れば の、 両家事 立し・	る自 分の 知識 ・経 験を 十分 生か せ	通 勤時 間が 短く てす むか ら	む現 在の 労働 環境 では 、自 分の 望	そ の他	無 回 答	
全 体 (n=188)		43.1	38.8	21.3	19.7	6.9	5.9	2.7	10.6	
性・ 年代別	女 性	20 代 (n= 16)	25.0	50.0	12.5	31.3	6.3	6.3	0.0	12.5
		30 代 (n= 28)	39.3	42.9	42.9	3.6	7.1	14.3	3.6	14.3
		40 代 (n= 24)	58.3	29.2	37.5	16.7	0.0	0.0	4.2	4.2
		50 代 (n= 19)	47.4	31.6	26.3	21.1	10.5	5.3	0.0	10.5
		60 代 (n= 17)	58.8	17.6	17.6	23.5	5.9	0.0	5.9	17.6
		70 歳以上 (n= 6)	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	男 性	20 代 (n= 5)	0.0	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
		30 代 (n= 16)	31.3	62.5	12.5	18.8	0.0	18.8	0.0	0.0
		40 代 (n= 20)	40.0	35.0	15.0	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0
		50 代 (n= 17)	41.2	52.9	5.9	52.9	5.9	0.0	0.0	11.8
		60 代 (n= 13)	69.2	38.5	0.0	23.1	23.1	0.0	0.0	0.0
		70 歳以上 (n= 4)	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0

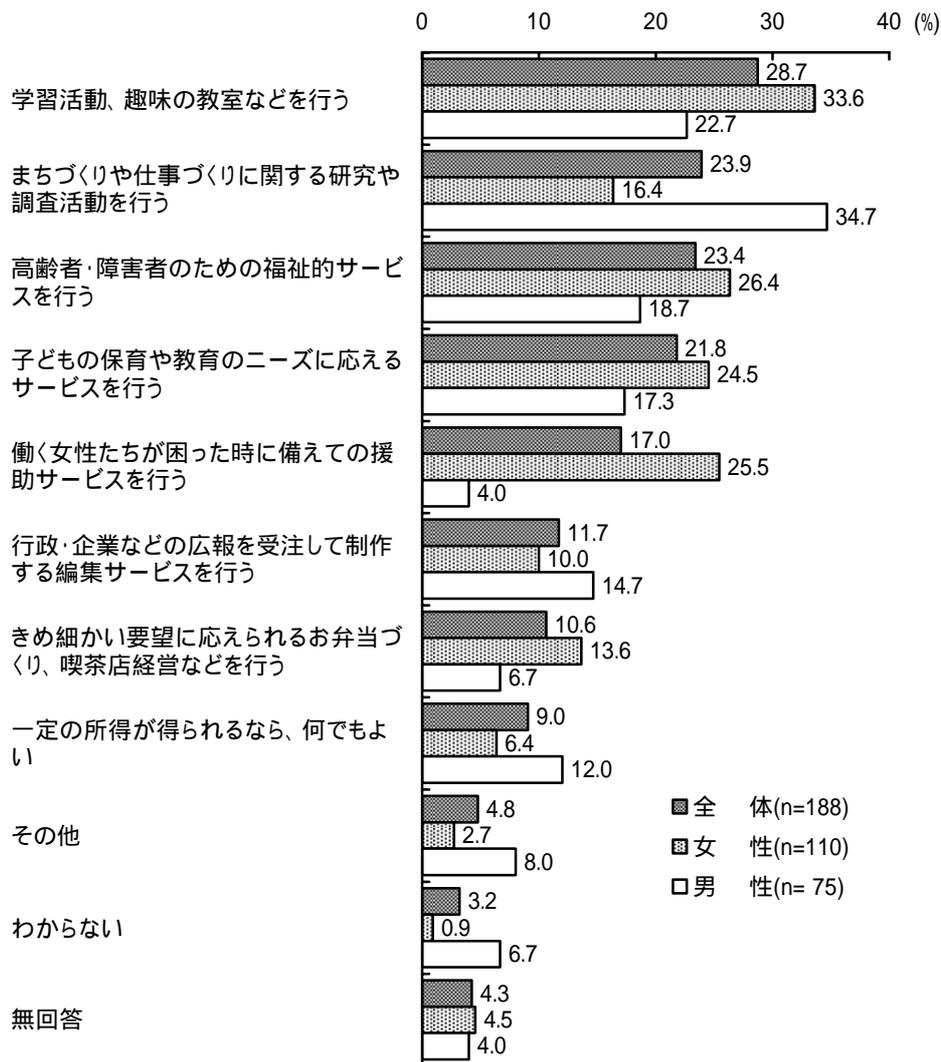
4 - 5 新しい仕事づくりでやってみたいこと（問 18 - 2）

女性は学習活動・趣味の教室、福祉的サービスや働く女性の援助サービス、男性はまちづくりや仕事づくりの調査研究などに取り組みたい意向がある

問 18 で新しい仕事づくりを《やってみたい》と回答した人に、やってみたいことをたずねた。全体では、「学習活動、趣味の教室などを行う（28.7%）」、「まちづくりや仕事づくりに関する研究や調査活動を行う（23.9%）」、「高齢者・障害者のための福祉的サービスを行う（23.4%）」、「子どもの保育や教育のニーズに応えるサービスを行う（21.8%）」の4項目は2割を超えている。

性別にみると、女性は「学習活動、趣味の教室などを行う（33.6%）」が最も多く、「高齢者・障害者のための福祉的サービスを行う（26.4%）」、「働く女性たちが困った時に備えての援助サービスを行う（25.5%）」、「子どもの保育や教育のニーズに応えるサービスを行う（24.5%）」が次いで多い。男性は「まちづくりや仕事づくりに関する研究や調査活動を行う（34.7%）」が最も多い。（図表 - 4 - 5 - ）

図表 - 4 - 5 - 新しい仕事づくりでやってみたいこと（全体、性別：複数回答（2つまで））



性・年代別にみると、女性は 30 代で「子どもの保育や教育のニーズに応えるサービスを行う (42.9%)」、40 代で「学習活動、趣味の教室などを行う (50.0%)」、50 代で「働く女性たちが困ったときに備えての援助サービスを行う (42.1%)」、60 代で「高齢者・障害者のための福祉的サービスを行う (64.7%)」が、全体を 20 ポイント以上上回っている。

男性は、50 代、70 歳以上で「学習活動、趣味の教室などを行う (52.9%)」が、全体を 20 ポイント以上上回っている。(図表 - 4 - 5 -)

図表 - 4 - 5 - 新しい仕事づくりでやってみたいこと(全体、性別：複数回答(2つまで))

		学習活動、趣味の教室などを行う	まちづくりや仕事づくりに関する研究や調査活動を行う	高齢者・障害者のための福祉的サービスを行う	子どもの保育や教育のニーズに応えるサービスを行う	働く女性たちが困った時に備えての援助サービスを行う	行政・企業などの広報を受注して制作する編集サービスを行う	きめ細かい要望に応えられるお弁当づくり、喫茶店経営などを行う	よー一定の所得が得られるなら、何でもよい	その他	わからない	無回答	
全	体 (n=188)	28.7	23.9	23.4	21.8	17.0	11.7	10.6	9.0	4.8	3.2	4.3	
性・年代別	女性	20 代 (n= 16)	43.8	12.5	12.5	37.5	18.8	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3
		30 代 (n= 28)	25.0	14.3	14.3	42.9	32.1	3.6	17.9	10.7	0.0	0.0	0.0
		40 代 (n= 24)	50.0	29.2	25.0	8.3	8.3	12.5	12.5	16.7	4.2	0.0	4.2
		50 代 (n= 19)	26.3	5.3	26.3	31.6	42.1	5.3	10.5	0.0	10.5	5.3	5.3
		60 代 (n= 17)	23.5	23.5	64.7	0.0	35.3	11.8	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0
		70 歳以上 (n= 6)	33.3	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	男性	20 代 (n= 5)	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
		30 代 (n= 16)	6.3	37.5	25.0	18.8	6.3	18.8	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0
		40 代 (n= 20)	10.0	45.0	10.0	15.0	5.0	25.0	10.0	10.0	10.0	10.0	5.0
		50 代 (n= 17)	52.9	23.5	17.6	11.8	0.0	5.9	5.9	11.8	5.9	0.0	5.9
		60 代 (n= 13)	7.7	38.5	30.8	23.1	0.0	7.7	0.0	23.1	7.7	7.7	7.7
		70 歳以上 (n= 4)	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

4 - 6 新しい仕事づくりに必要な支援（問 18 - 3）

女性は専門家の助言・手助け、男性は行政の資金援助や低金利の融資制度などを望んでいる

問 18 で「新しい仕事づくりをすでにやっている」と回答した人に、どのような支援が必要かたずねた。

全体では、「専門家の助言・手助け（41.9%）」が最も多い。次いで「行政の資金援助や低金利の融資制度（35.5%）」、「“新しい仕事づくり”に取り組む人たちのネットワークづくり（25.8%）」などとなっている。

性別にみると、女性は「専門家の助言・手助け（50.0%）」が最も多く、男性では「行政の資金援助や低金利の融資制度（45.5%）」が最も多くなっている。（図表 - 4 - 6）

図表 - 4 - 6 新しい仕事づくりに必要な支援（全体、性別：複数回答（2つまで））

